

児童発達支援職員自己評価結果表

公表： 2025年 2月 25日

事業所名:子ども・子育てサポートセンターまなび舎

R2年度	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・職員の配置数を常に意識するようにしている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境やバリアフリーになっているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14 (93%)	1 (7%)	0 (0%)	・毎日の清掃と、おもちゃの消毒を心掛けている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5 (36%)	9 (64%)	0 (0%)	・目標の設定と振り返りをする会議に参加している	・現在行っている定例会議での話し合いを継続しつつ、より明確な目標設定をもって、職員のPDCAサイクルへの意識を高める
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13 (93%)	1 (7%)	0 (0%)	・年一度の保護者アンケートを参考に、よりよい取り組みを考えるようにしている	・外国籍の方へのアンケートがスムーズに行えない部分が見受けられたため、サポートを行いながらのアンケート依頼など、策を講じていく ・アンケートの集計期間を延ばす
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・会議やその時気になることを伝え合う機会がある	
	9 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・外部研修の案内から受講を希望すると、受講費を負担してもらえる ・法令遵守の研修などを事業所内で行っている ・職員全員が参加して、共通した知識や療育スキルを学べる機会が増えるといいと思う	・外部研修で得た内容の共有が不十分との意見があったため、研修記録の見直し、定例会議内で参加者による報告会を行うことで、情報の共有を促していく ・より細やかな療育スキルを学べる研修を、具体的な時間帯で設け、継続して行っていく
適切な支援の提供	10 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・事業所内の目につく場所に掲示してある	
	11 こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	12 児童発達支援計画の作成には、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮されているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・子どもの成長を大前提に考えられていると思う	・自発管のみではなく、関りのある職員を積極的に会議に参画させることで、より内容の濃い支援計画書の策定を目指す
	13 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・一人一人の計画書を記録簿と共に確認することで、日頃の療育に生かしている	
	14 こどもの適応行動の状況を、標準的な成長指数や日々の行動観察といったアセスメントを使用する等により確認しているか。	13 (93%)	0 (0%)	1 (7%)		・より細かく項目化したアセスメントシートを導入し、個の状況確認をより明確にする
	15 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	16 活動プログラムを職員間で相談しながら行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・空いた時間に相談しながら決めている	
	17 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・記録を確認したり、他の職員に相談している ・絵本やパネルを通じて、言葉の習得や数字への興味、理解につながる題材を取り入れている ・絵本は子どもたちが療育の最後にゆったりと安心して楽しめるものになるよう、本選びに配慮している ・季節感を大切に、行事、ユーモア、食に関するものなど、幅広いテーマから、言葉、情緒、心の落ち着き、視覚からの情報の習得につながるよう努めている	
	18 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	19 支援開始前には職員間で、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、連携して支援を行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・朝礼で流れを確認してから業務に取り組んでいる ・朝礼等で、その日の流れや役割を確認して、スムーズかつ安全に療育が行われるよう周知している	
	20 支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・お互いに気付いたことを伝え合うことを心掛け、自身にできる配慮や支援を行うようにしている ・気になった点や保護者の方からの意見があれば、伝えるようにしている	
21 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・療育記録を丁寧にわかりやすく記録することを心掛けている ・療育者が次の課題やねらいをプログラムの中にたてやすいよう工夫している ・気付いたことを記録し、次の療育に生かせるよう意識して行っている		

関係機関や保護者との連携	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・相談員と連携をとり、モニタリング期間を設けて話し合いを行っている	
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	25	併行利用や移行に向けた支援を行う際、保育所、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・こだわりや特性を保育所や幼稚園と共有することで、児童が過ごしやすい環境を作れるよう支援している	
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・児童がスムーズに就学先へ移行できるよう、それぞれの特性をまとめた資料を作成し、就学先と共有している	
	27	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13 (93%)	1 (7%)	0 (0%)		・受けたアドバイスを可視化し、職員全体で共有できるような取り組みを考える
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・フィードバックの時に話を聞いて記録を取るようになっている ・フィードバックの際に近況を伺ったり、前回から今回どう伸びたのかを伝えるようになっている	
保護者等への説明責任等	29	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対してペアレントトレーニングにつながる助言を行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・子どもの行動変容を目的に、親が褒め方や指示などの具体的な療育スキルを獲得することを目指す ・助言が難しい事案に関しては、上司や他の職員に共有し、対応するようになっている	・今まで以上に保護者への声掛けを意識して行うこと、子どもの状況から鑑みた家庭での具体的な対応のアドバイスを行うなど、より力を入れていく
	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・契約時に資料に沿って内容の説明を行い、理解を促している	
	31	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	32	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・サインをもらい、同意を得ている	
	33	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・フィードバックの際に児童の近況を伺いながら、それに伴う困り感などからアドバイスを行っている	・保護者が相談しやすいような雰囲気作り、声掛けを強く意識し、保護者に寄り添った支援を行う
	34	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・第三者委員を設けるとともに、事業所内掲示板に情報を開示している	
	35	定期的にHPや掲示板で、活動概要や自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。	13 (93%)	1 (7%)	0 (0%)		
非常時等の対応	36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	37	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		・マニュアルが形骸化してしまわないよう、定期的な改定を意識的に行う
	39	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な研修を行っているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		・事業所に沿った内容に落とし込めていない項目が多いため、職員で研修、訓練を行う中で、より精度を上げていく
	40	服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの利用がある場合、事前に状況を確認しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	41	安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・常に児童の安全を意識し、活動に取り組んでいる	
	42	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12 (86%)	2 (14%)	0 (0%)	・地震注意期間にはすぐ連絡がつくよう伝えるなど、状況に応じた連携を心掛けている	・事業所内の安全計画の可視化を進める
非常時等の対応	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・常に身の回りの衛生、安全に配慮して、ヒヤリハットがあった際はすぐに改善策を話し合っている	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・事業所内で虐待防止に関する研修を定期的に行い、虐待への意識を高めるようになっている	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		

【まとめ】

今回の自己評価を受けて、情報の共有不足が大きな課題となった。

職員会議の充実、定例スキルアップ研修、子どもの状況をスムーズに把握できるアセスメントシート等の導入を進めることで、情報共有への意識を高めていきたい。

また、利用者がまなび舎を安心して利用してもらえるための取り組みに加え、ペアレントトレーニングや、保護者の心理的支援を今まで以上に行うことで、

家族での子育て支援により力を入れていくこととする。